

2012 年 1 月 13 日
中国自動車調査月報 編集長 周錦程**【速報】****2011 年中国自動車生産は微増ながら過去最高の 1,842 万台、
2012 年は内需刺激策で 2,000 万台生産へ**

- 2011 年中国自動車生産台数は前年比 0.8%増の 1,842 万台と 13 年ぶりに低い伸び
- 2011 年中国乗用車生産は SUV が牽引し前年比 4.2%増の 1,449 万台と成長を維持
- 2011 年中国商用車生産はバスが前年比 7.9%拡大するもトラックは 12.0%減少
- 2011 年系列別乗用車生産は現地系が前年割れ、欧米韓系は二桁成長、日系は一桁成長
- 2011 年新エネ車生産台数は 8,368 台に拡大、引き続き拡大が見込まれる
- 2012 年は刺激策の導入が見込まれ、前年比 6~8%増の 2,000 万台への回復を予測

謹啓、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当社の調査・出版業務にご協力頂き、誠にありがとうございます。

ご参考までに、プレスリリース用「速報」記事（1 頁）を添付いたしました。「FOURIN 中国自動車調査月報」に掲載予定のレポートではありません。2011 年のメーカー別自動車生産・工場出荷台数及びモデル別乗用車生産・工場出荷台数の詳細情報につきまして、弊社ホームページ及び「FOURIN 中国自動車調査月報」2012 年 3 月号の巻末統計に掲載する予定です。

中国自動車生産・工場出荷台数データについてご不明な点や質問がありましたら、「FOURIN 中国自動車調査月報」編集長の周錦程（TEL : 052-789-1186、FAX : 052-789-0967、E-mail : j.zhou@fourin.com）までご連絡ください。

謹白

2011年中国自動車生産は微増ながら過去最高の1,842万台、 2012年は内需刺激策で2,000万台生産へ

2012年1月12日の中国汽车工业协会(CAAM)発表によると、2011年の中国自動車生産台数は過去最高の1,842万台となり、2009年から3年連続で世界最大の自動車生産国となった。しかし対前年比伸び率は、2009年の48.3%、2010年の32.4%を大きく下回る0.8%で、1998年以来13年ぶりの低さとなった。購入税減税等大型景気浮揚策の撤廃、消費者物価指数(CPI)の高止まりによる金融引き締め政策による需要鈍化で低成長にとどまった。

車種別では、乗用車の生産台数が1,449万台と、小型車購入税減税の撤廃、北京市での登録規制導入等にもかかわらず4.2%の成長を果たした。乗用車における最量販セグメントである乗貨両用車が農村部自動車普及策の撤廃の影響を受けて11.6%減少した一方で、SUVとMPVがそれぞれ19.8%と12.2%に拡大した。商用車は、金融引き締め政策の影響でトラックが12.0%減の345万台となったのに対して、バスは都市部での物流需要の増大で7.9%増の48万台に拡大し、商用車全体では9.9%減の393万台となった。

系列別では、現地系メーカーが不調で、長城汽車を除いて多くの現地系が年初に発表した目標を達成できなかった。現地系の不調は、2009年に導入された景気刺激策の恩恵を最大限に享受し、実際以上の需要を2009年、2010年に先食いしたことによる。一方、外資系は欧米韓系が好調であった。

2012年は、中国政府が経済成長の確保を優先することで商用車市場の復活につながる可能性があるほか、自動車販売刺激策を打ち出す可能性も浮上していることから、6~8%の国内市場成長が見込まれ、自動車生産は約2,000万台へ拡大するとFOURINは予測している。

